

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局
 〒640-8314
 和歌山市神前 405-3
 TEL 073-473-2301
 FAX 073-473-2302
 発行責任者
中澤敏浩



＝ 2013年闘争日誌 ＝

- ①対県交渉であいさつする 松本貞次・副執行委員長(10/29 県文)
- ②90周年レセプションで「心音」「初音」が 太鼓演奏(5/17 ダイワロイネット)
- ③表彰される功労者たち(5/17 プラザホープ)
- ④非核・平和行進(7/13)
- ⑤荊冠旗びらきであいさつする 中澤敏浩・執行委員長(1/11 ダイワロイネット)
- ⑥狭山市民集会(5/23 日比谷野外音楽堂)
- ⑦Y住宅販売会社差別事件確認会(8/9 同和企業センター)
- ⑧第57回全国青年集会であいさつする 田上武・実行委員長(9/21 県文)



とくに、昨年暮れの「特
 定秘密保護法」の強行採決、
 導入など負担が増加する一
 方、医療・介護・年金・生
 活保護など福祉の先行きも
 みえにくくなってきたいま
 ます。政治の右傾化にさ
 らに拍車がかかり「平和」
 「人権」が危うい状況になっ
 ています。また、そのこと
 ともあいまって、差別事件
 の続発や「ヘイトスピーチ」
 「にみられるように、人権
 意識の低下や人の繋がりが
 希薄になりつつあります。
 さらに、消費税ひき上げの
 導入など負担が増加する一
 方、医療・介護・年金・生
 活保護など福祉の先行きも
 みえにくくなってきたいま
 ます。

最後に、これまで以上に、
 多くのみなさまと課題を共
 有するとともに、私たちの
 運動へのご理解とご支援、
 ご協力を心からお願ひ申し
 ます。

また、昨年は狭山事件
 50年という年でもありまし
 た。50年前、部落への予断
 と偏見によって犯人にされ
 た石川一雄の無実の叫びは、
 私たち自身の思いであり、
 なんとしても再審の開始を
 という思いでとどろくみをす
 すめてきました。三者協
 議の状況など有利な状況に
 なりつつあるとしても、結
 果として実現することがで
 きませんでした。
 こうした昨年一年を振り
 返りながら、新たな年を迎
 え、多くの課題が山積して
 おります。

さらに、私たちの生活
 は、先にも述べたように、極
 めて困難な状況に直面して
 いるといえ、私たちの生活
 と権利を守るために、以前
 の「人権課題現況調査」で
 明らかにされた課題解決と
 ともに、新たな実態調査の
 実施を行政に強く迫ってい
 くことも重要な課題であり
 ます。

あけましておめでとうご
 ざいます。
 新しい年を迎え、日頃の
 感謝と敬意を込め、県連を
 代表してひと言、ごあいさ
 つ申し上げます。
 昨年は、和歌山県水平
 社創立90周年という大きな
 節目の年を迎え、とくに記
 念事業に際し、多くのみな
 さま方のご厚情をいただき
 ましたことに心より感謝申
 し上げます。私たちも、先
 人たちの思いを今一度胸に
 刻み「人類最高の完成」に
 むかかってまい進することを
 再確認したところでありま
 す。

また、差別事件の状況を
 みると大阪の土地差別につ
 づき、和歌山でも不動産業
 者による極めて露骨な差別
 事件が発生し、さらに確認
 会のなかで、全国13府県で
 も同様のことが起きていた
 ことが発覚してきます。く
 わえて、行政窓口への部落
 の不正取得事件、過去帳を
 使った出自の調査など「土
 地(部落)」や「関係者」
 への「忌避意識」にもとづ
 く「調査」という極めて露
 骨な状況が次々と表面化
 してきます。



年頭にあたって
 部落解放同盟和歌山県連合会
 執行委員長 **中澤敏浩**